

7 教教環第 132 号
令和 8 年 3 月 24 日

名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会
会長 南部 初世 様

名古屋市教育委員会

本地丘小学校、森孝東小学校及び森孝西小学校の統合並びに
森孝中学校との併設に関する個別プラン（諮問）

みだしのことにつきまして、名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会
条例（令和元年名古屋市条例第16号）第2条の規定により別添のとおり諮問い
たします。

本地丘小学校、森孝東小学校及び森孝西小学校の統合並びに 森孝中学校との併設に関する個別プラン（諮問）

1 取り組みを行う学校

(1) 対象校 1：本地丘小学校（守山区・森孝中学校ブロック）

①選定理由

本地丘小学校は小規模校（単学級）であり、今後も小規模校が継続する見込みであることから、取り組みを行う学校として選定する。

②学級数・児童数（令和 7 年度）

区分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特支	合計
学級数	1 学級	1 学級	1 学級	1 学級	1 学級	1 学級	2 学級	8 学級
児童数	5 人	9 人	7 人	11 人	13 人	9 人	4 人	58 人

※特支：特別支援学級

③未就学児数（令和 7 年度）

区分	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
人数	5 人	2 人	6 人	3 人	10 人	3 人	29 人

④学級数・児童数の見込み

区分	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
学級数	6 学級	5 学級	5 学級	5 学級	3 学級	3 学級	3 学級
児童数	54 人	47 人	41 人	32 人	28 人	21 人	19 人
学級数	2 学級	特別支援学級は設置基準が異なるため令和 8 年度以降は未定					
児童数	4 人						

※下段は特別支援学級の学級数及び児童数を掲げた。

※複式学級を見込んだ学級数とした。

⑤沿革

昭和 48 年 4 月 大森小学校分校として創設

昭和 49 年 4 月 本地丘小学校として分離独立

(2) 対象校2：森孝東小学校（守山区・森孝中学校ブロック）

①選定理由

森孝東小学校は小規模校（単学級）であり、今後も小規模校が継続する見込みであることから、取り組みを行う学校として選定する。

②学級数・児童数（令和7年度）

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級数	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	1学級	3学級	9学級
児童数	20人	21人	21人	23人	23人	22人	5人	135人

※特支：特別支援学級

③未就学児数（令和7年度）

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
人数	17人	14人	20人	34人	20人	34人	139人

④学級数・児童数の見込み

区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
学級数	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級	6学級
児童数	130人	139人	133人	137人	131人	119人	111人
学級数	3学級	特別支援学級は設置基準が異なるため令和8年度以降は未定					
児童数	5人						

※下段は特別支援学級の学級数及び児童数を掲げた。

⑤沿革

昭和54年4月 森孝東小学校として、本地丘小学校から分離創設

(3) 対象校3：森孝西小学校（守山区・森孝中学校ブロック）

①選定理由

森孝西小学校は小規模校であり、今後も小規模校が継続する見込みであることから、取り組みを行う学校として選定する。

②学級数・児童数（令和7年度）

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級数	1学級	1学級	2学級	1学級	2学級	2学級	2学級	11学級
児童数	34人	34人	38人	26人	37人	38人	10人	217人

※特支：特別支援学級

③未就学児数（令和7年度）

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
人数	31人	31人	32人	26人	27人	30人	177人

④学級数・児童数の見込み

区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
学級数	9学級	8学級	7学級	7学級	6学級	6学級	6学級
児童数	207人	196人	183人	178人	165人	153人	142人
学級数	2学級	特別支援学級は設置基準が異なるため令和8年度以降は未定					
児童数	10人						

※下段は特別支援学級の学級数及び児童数を掲げた。

⑤沿革

昭和54年4月 天子田小学校分校として創設

昭和55年4月 森孝西小学校として分離独立

2 取り組みの方法等

(1) 取り組みの方法

本地丘小学校、森孝東小学校及び森孝西小学校を統合する。

(2) 統合場所

現在の森孝中学校の場所を統合場所とし、森孝中学校との併設校とする。また、現在の森孝東小学校の運動場を第2運動場とする。

選定理由は以下のとおり。

- ①地理的に森孝中学校が3学区の概ね中心に位置しており、全ての学区の子どもたちにとって、通学の負担が偏らない。
- ②森孝中学校を統合場所とした場合、通学距離は、市が小学校の通学距離の目安としている2km以内となる。

(3) 中学校を併設する理由

中学校を移転せず、現在の場所で小学校統合校と併設する理由は以下のとおり。

- ①中学校の教育活動において、体育の授業や体育祭、部活動などを現在と同様に行うためには、運動場をできるだけ広く確保することが望ましく、3小学校と比べ、森孝中学校の敷地面積が最も広い。(森孝中学校の敷地面積は16,545㎡)
※本地丘小学校の敷地面積は15,920㎡(うち自然林6,520㎡)、森孝東小学校の敷地面積は13,320㎡、森孝西小学校の敷地面積は15,006㎡
- ②現在の森孝東小学校の運動場を第2運動場として活用することで、中学校の部活動を中心として、より充実した活動ができる。

(4) 統合校及び併設校の規模

①小学校統合校の規模

ア) 学級数・児童数(令和7年度の児童数合算、これをもとにした学級数)

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級数	2学級	3学級	2学級	2学級	3学級	2学級	5学級	19学級
児童数	59人	64人	66人	60人	73人	69人	19人	410人

※特支：特別支援学級

イ) 通学区域内の未就学児数(令和7年度の未就学児数合算)

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
人数	53人	47人	58人	63人	57人	67人	345人

ウ) 統合を想定した場合の学級数・児童数の見込み

区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
学級数	14学級	13学級	12学級	12学級	12学級	12学級	12学級
児童数	391人	382人	357人	347人	324人	293人	272人
学級数	5学級	特別支援学級は設置基準が異なるため令和8年度以降は未定					
児童数	19人						

※下段は特別支援学級の学級数及び児童数を掲げた。

②森孝中学校の規模

ア) 学級数・生徒数（令和7年度）

区分	1年	2年	3年	特支	合計
学級数	3学級	2学級	2学級	2学級	9学級
生徒数	75人	68人	77人	7人	227人

※特支：特別支援学級

イ) 学級数・生徒数の見込み

区分	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
学級数	7学級	6学級	7学級	6学級	6学級	6学級	6学級
生徒数	220人	210人	213人	196人	193人	183人	181人
学級数	2学級	特別支援学級は設置基準が異なるため令和8年度以降は未定					
生徒数	7人						

※下段は特別支援学級の学級数及び生徒数を掲げた。

③小学校統合校と中学校との併設校の規模

併設を想定した場合の学級数及び児童・生徒数の見込み

区分		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
小学校	学級数	14学級	13学級	12学級	12学級	12学級	12学級	12学級
	児童数	391人	382人	357人	347人	324人	293人	272人
中学校	学級数	7学級	6学級	7学級	6学級	6学級	6学級	6学級
	生徒数	220人	210人	213人	196人	193人	183人	181人
併設校	学級数	21学級	19学級	19学級	18学級	18学級	18学級	18学級
全体	児童・生徒数	611人	592人	570人	543人	517人	476人	453人

※特別支援学級を除く。

3 通学区域等

(1) 通学区域

新しい通学区域は、現在の本地丘小学校、森孝東小学校及び森孝西小学校の通学区域とする。

(2) 通学距離

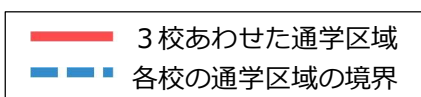
区分	学区	現在の通学距離	取り組み後の通学距離
A(本地が丘)	本地丘	本地丘小まで約 0.4km	森孝中まで約 1.8km
		(参考) 森孝東小まで約 1.4km、森孝西小まで約 2.2km	
B(白山二丁目)	森孝東	森孝東小まで約 1.3km	森孝中まで約 1.8km
		(参考) 本地丘小まで約 1.0km、森孝西小まで約 2.8km	
C(森孝東二丁目)	森孝東	森孝東小まで約 1.1km	森孝中まで約 1.8km
		(参考) 本地丘小まで約 1.2km、森孝西小まで約 2.8km	
D(森孝一丁目)	森孝西	森孝西小まで約 0.4km	森孝中まで約 1.4km
		(参考) 森孝東小まで約 2.2km、本地丘小まで約 2.6km	

※通学距離：想定される通学路を歩いた場合の距離

※現在の通学区域のうちで最も通学距離が遠くなる地域を掲げた。



※この地図は、地理院地図(GSI Maps)を名古屋市教育委員会教育環境整備課が加工して作成したものです。



(3) 安全対策

統合決定後、統合校の開校に向けて、小学校と中学校との併設であることも考慮し、安全点検や地域・交通状況などの特性を踏まえて新しい通学路を設定するとともに、必要な安全対策について関係行政機関と連携を図り、通学の安全確保に取り組む。

(統合校での取り組み例)

信号機や歩道橋の設置状況を踏まえた通学路の設定、ガードレールや歩行者用信号機などの安全施設や注意標識の設置、地域ボランティア等見守り活動への協力依頼や活動の実施、通学練習会の実施 等

また、登下校時の熱中症等への必要な対策にも取り組む。

(統合校での取り組み例)

日傘など熱中症予防に効果的な用具の使用、登下校時の水分の携帯、通学支援員の配置 等

4 施設整備の方向性

現在の森孝中学校の校舎等を全面的に取り壊し、併設校の校舎等を新築する。また、他都市等の併設校での施設整備例を参考とした、安全面に配慮した施設整備を検討する。

(統合校での施設整備例)

○学びの充実に向けた柔軟で創造的な学習空間

- ・ 教室と一体となったワークスペースの設置
- ・ 調べ学習、自主・自発的な学習を手助けする図書室兼メディアスペースの整備

○新しい生活様式を踏まえた健やかな学習・生活空間

- ・ 内装の木質化
- ・ 体育館や特別教室等への空調設置、屋上や壁の断熱化、LED 照明化
- ・ バリアフリー化 (エレベーター、スロープ、バリアフリースイールの設置 等)

(他都市等の併設校での施設整備例)

○施設内の安全や学習環境の確保等

- ・ 小学校と中学校それぞれが主に使用する教室 (普通教室など) について、階層ごとに分けて配置
- ・ 昇降口について、小学校と中学校それぞれで分けて配置
- ・ 体育館について、中学校用及び小学校用兼格技場をそれぞれ整備
- ・ プールの水深について、小学校低学年・高学年、中学生ごとの基準を満たした整備
- ・ 階段の高さ等について、小学校に合わせて配置 等

5 今後のスケジュール（想定）

小学校の統合及び中学校との併設校を整備するにあたっては、関係校児童・生徒の安心・安全な学校生活が確保できるような学校運営等を前提とした検討が必要となる。

以下は、これまでの事例を踏まえ、想定されるスケジュールである。

	本地丘小の場所 本地丘小学校	森孝西小の場所 森孝西小学校	森孝東小の場所 森孝東小学校	森孝中の場所 森孝中学校
半年程度	審議会からの答申後、速やかに保護者・地域への説明・協議を行い、教育委員会が統合を決定する(6か月以内を目標とする。)			
1年半程度	統合校の開校に向けた新しい学校づくり(校名・校章や通学安全等の検討など)の協議と児童の交流活動を進める。			森孝中の生徒が通学
	本地丘小の児童が通学	森孝西小の児童が通学	森孝東小の児童が通学	
1年程度	統合校の開校			併設校の新築工事の設計
	統合校東校舎	統合校西校舎	森孝中学校の仮校舎の改修工事	
3年程度	本地丘小と森孝東小の児童が通学	森孝西小の児童が通学	森孝中学校仮校舎 森孝中の生徒が通学	併設校の新築工事
以降				新校舎完成 小学校と中学校の併設校 すべての児童・生徒が通学